

エコアクション21

# 環境活動レポート

平成29年度版

(運用期間 平成29年4月1日 ~ 平成30年3月31)



平成30年 8月1日

九州チャーターサービス株式会社

# もくじ

---

1.	事業の概要	・・・ 1
2.	環境活動の取組体制	・・・ 2
3.	認証・登録の対象範囲	・・・ 2
4.	許可の内容、施設等の状況、処理実績	・・・ 3
5.	環境方針	・・・ 4
6.	環境目標	・・・ 5
7.	環境活動計画	・・・ 6
8.	環境目標の達成状況	・・・ 7
9.	環境活動計画の取組結果の評価、今後の取組内容	・・・ 8
10.	環境関連法規への違反、訴訟等の有無	・・・ 10
11.	代表者による全体評価と見直しの結果	・・・ 11

# 1. 事業の概要

## 1) 会社概要

商号	九州チャニターサービス株式会社
所在地	〒803-0844 福岡県北九州市小倉北区真鶴一丁目5番26号
連絡先	Tel 093-561-8000 Fax 093-561-8110
創立	昭和35年7月
資本金	3,000万円
代表者	代表取締役 山中 祐樹
事業内容	一般廃棄物収集運搬業（積替え保管なし）、産業廃棄物収集運搬業（積替え保管なし）、総合ビルメンテナンス業・オフィスビル清掃全般、環境衛生管理、設備管理、貯水槽清掃、防除業務
事業年度	4月～翌年3月
従業員数	134名
会社履歴	昭和35年 7月 北九州清掃センター として発足 昭和36年 4月 九州チャニターサービス株式会社 に社名変更
環境管理責任者及び担当者の連絡先	責任者 : 綿貫 高志 担当者 : 綿貫 高志 連絡先 : Tel 093-561-8000 Fax 093-561-8110 E-mail takashi.watanuki@janitor.co.jp

## 2) 事業の規模

活動規模		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度
受託した廃棄物の運搬量	産業廃棄物	t	111	124	115
	事業系一般廃棄物	t	4,369	4,309	3,948
	合計	t	4,480	4,433	4,063
売上高		-	売上高区分A	売上高区分A	売上高区分A
従業員	従業員数	人	135	138	139
	対象範囲の従業員数	人	65	63	63
保有車両台数	廃棄物収集運搬車	台	10	10	10
	業務用車	台	6	6	7

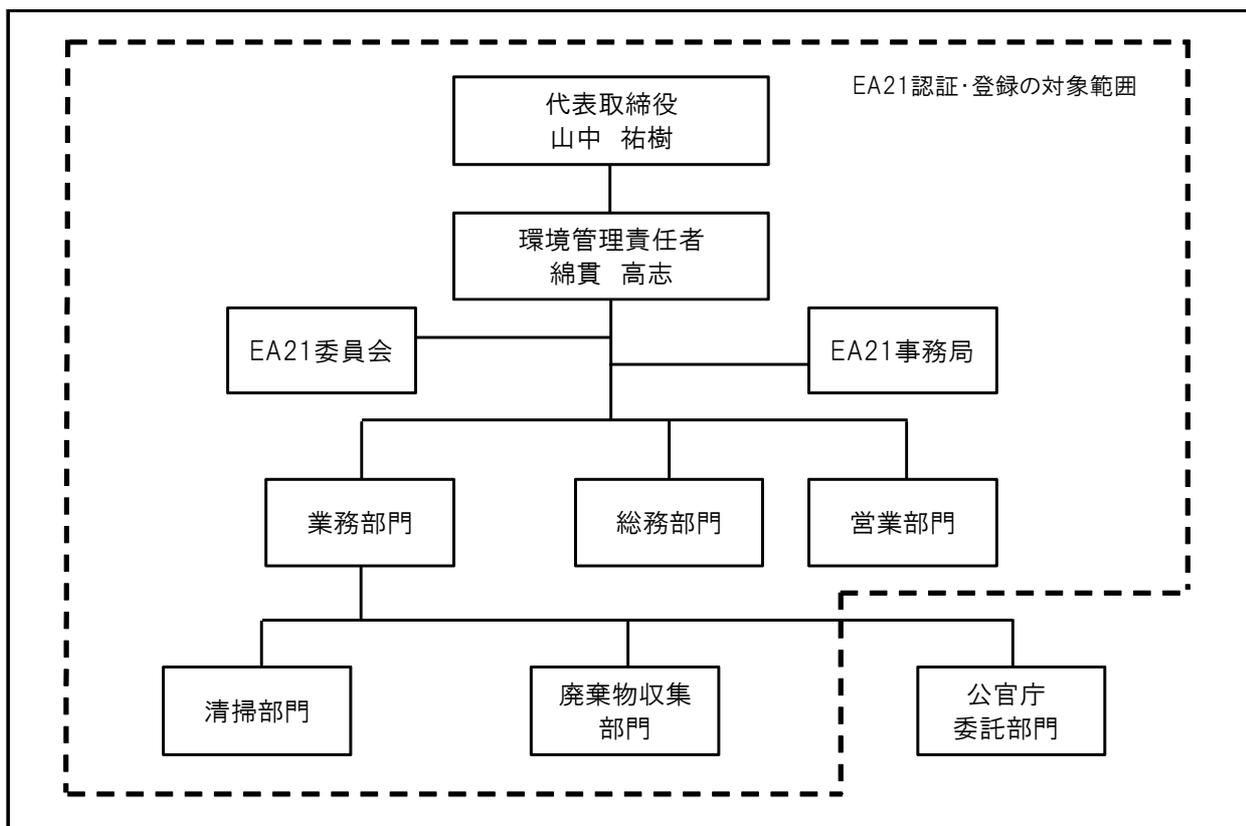
※売上高区分は以下による。

売上高区分A：5億円未満

売上高区分B：5億円以上10億円未満

売上高区分A：10億円以上

## 2. 環境活動の取組体制



## 3. 認証・登録の対象範囲

登録組織名	内容	
対象事業所	本社 〒803-0844 福岡県北九州市小倉北区真鶴一丁目5番26号	
対象活動	一般廃棄物収集運搬業(積替え保管なし)、産業廃棄物収集運搬業(積替え保管なし)、総合ビルメンテナンス業・オフィスビル清掃全般、環境衛生管理、設備管理、貯水槽清掃、防除業務	
対象除外事業所	公官庁委託部門	当部門については委託者の管理下で活動が行われているため、当社のエコアクション21の対象事業所から除外する

## 4. 許可の内容、施設等の状況、処理実績

### 1) 許可の内容

認可・許可の府県	許可名称	許可番号	許可の年月日	有効期限の年月日
福岡県	産業廃棄物収集運搬業	第04000029189号	平成27年3月12日	平成32年3月11日
北九州市	一般廃棄物収集運搬業	北九一廃第032号	平成30年4月1日	平成32年3月31日

### 2) 事業の範囲

・産業廃棄物の事業範囲(17品目)
燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、ゴムくず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、鉱さい、がれき類、ばいじん類、政令第13号廃棄物

- ・一般廃棄物の事業範囲：A類（ふん尿を除く一般廃棄物）
- ・積み替え、許可の条件：一般・産業廃棄物共に積み替え保管施設はない。
- ・許可の条件：なし

### 3) 保有車両

2tダンプ	1台
2tトラック	1台
2tパッカー	5台
軽トラック	2台
軽ダンプ	1台
作業用車※	7台

※ 営業、清掃作業の使用車両合計台数

### 4) 処理実績

処理方法等	廃棄物等種類	処理量(t)		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度
収集運搬	一般廃棄物	4,369	4,309	3,948
	産業廃棄物(計)	111	124	115
	(汚泥)	37	60	49
	(繊維くず)	41	39	44
	(動植物性残さ)	18	17	19
	(廃プラスチック類)	13	6	1
	(金属くず)	2	1	1
	(ガラス類)	0	1	1
収集運搬量合計		4,480	4,433	4,063

### 5) 収集運搬処理料金

※収集運搬費は、廃棄物の種類・量・距離により計算いたします。

## 5. 環境方針

---

# 環 境 方 針

### 【企業理念】

- 一. 私達はお客様の心を心として仕事に真実をつくします。
- 一. 私達は常に笑顔で助け合い今日の仕事に励みます。
- 一. 私達は社長と共に社業の発展と自らの幸福を目指して働きます。

### 【環境方針】

1. エコアクション21に基づく環境経営システムを構築し、次の事項を重点的なテーマとして取り組みます。
  - 1) 省エネ活動（電気、燃料）によって二酸化炭素排出量削減に取り組みます。
  - 2) 水使用量の削減に取り組みます。
  - 3) 廃棄物の排出削減に取り組みます。
2. 環境関連法規等を遵守します。
3. 環境目標を定め、定期的に見直し、継続改善に努めます。
4. 化学物質使用量の適正管理に努めます。
5. グリーン製品および環境負荷のより少ない用品を購入するように努めます。
6. 受託した廃棄物の適正処理および排出事業者のリサイクルへの理解促進に取り組みます。
7. 行政機関などの環境保全施策に協力します。
8. 環境活動レポートを作成し、環境への取組の状況を公表します。

制定日 平成27年 8月9日

改定日 平成27年 8月27日

**九州チャーターサービスKK**

代表取締役 山中 祐樹

## 6. 環境目標

- ・平成26年度の環境負荷の実績から平成29年度の環境目標を以下のように設定しました。
- ・ガソリン、軽油については車両増減のため平成27年度をベースに算出しています。
- ・なお、削減目標については基準年より毎年1%の追加削減を目標として設定、増加目標については、6. と7. は毎年10%、5. は毎年1%増加を目標として設定しました。

### 環境目標（平成29年度）

環境目標	単位	基準年	単年度目標	中長期目標	
		H26年度	H29年度	H30年度	H31年度
		H26年4月～ H27年3月	H29年4月～ H30年3月	H30年4月～ H31年3月	H31年4月～ H32年3月
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	88,092 ※1	86,330 (-2%)	85,449 (-3%)	84,568 (-4%)
①電気使用量の削減	kWh	14,909	14,462 (-3%)	14,313 (-4%)	14,164 (-5%)
②ガソリン使用量の削減	L	7,839 ※1	7,682 (-2%)	7,604 (-3%)	7,525 (-4%)
③軽油使用量の削減	L	23,122 ※1	22,660 (-2%)	22,428 (-3%)	22,197 (-4%)
④都市ガス使用量の削減	m <sup>3</sup>	34	33 (-3%)	33 (-4%)	32 (-5%)
2. 水使用量の削減	m <sup>3</sup>	743	721 (-3%)	713 (-4%)	706 (-5%)
3. 事務所から排出した一般廃棄物の削減	kg	1,530	1,484 (-3%)	1,469 (-4%)	1,454 (-5%)
4. 化学物質使用量の適正管理 ※1	kg	3.4	適正使用・適正管理に努める		
5. グリーン購入の推進	% (購入金額)	(92) ※4	94 (+2%)	95 (+3%)	96 (+4%)
6. 環境関連の市民講座等への参加	件 (参加数)	16	20 (+30%)	22 (+40%)	24 (+50%)
7. 受託廃棄物のリサイクル促進 ※3	件 (対応数)	(24) ※4	30 (+20%)	32 (+30%)	33 (+40%)

#### 備考

1. 購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.613kg-CO<sub>2</sub>/kWh(九州電力(株)平成25年度実排出係数)を使用した。
2. ()は基準値に対する増減率を示す。
- ※1 平成27年度の実績をベースに車両の増減を考慮し算出したもの。
- ※2 化学物質は変動が大きく、且つ取扱い数量が少ないため、定性目標とする。
- ※3 処理を受託した廃棄物排出業者に対する分別への協力対応を行った件数。
- ※4 平成27年度実績(推定値)で示す。

## 7. 環境活動計画

・環境目標を達成するために策定した具体的な取組（環境活動計画）は以下のとおりです。

### 1. 二酸化酸素排出量の削減(基準年比2%削減)

取組目標	活動項目	担当	スケジュール			
			4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
① 電気使用量の削減	1 室温を決めてエアコン設定温度を調節する(冷房期28℃,暖房期20℃)	成重		←→	←→	←→
	2 不要電力消費抑制(不要な場合は機械を止める運動)	成重	←→	←→	←→	←→
② ガソリン使用量の削減	1 アイドリングストップ手順を決め、実行する	山口	←→	←→	←→	←→
	2 車両の燃費向上(エコドライブ)	山口	←→	←→	←→	←→
③ 軽油使用量の削減	1 搬送ルートと搬送方法の見直し	林	←→	←→	←→	←→
	2 アイドリングストップ手順を決め、実行する	林	←→	←→	←→	←→
④ 都市ガス使用量の削減	1 使用時間を決め、実行する	成重	←→	←→	←→	←→

### 2. 水使用量の削減(基準年比3%削減)

取組目標	活動項目	担当	スケジュール			
			4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
① 節水活動の推進	1 ごみ収集車の洗車時の節水活動	林	←→	←→	←→	←→
	2 節水対策用具への取り組みの見直し	林	←→	←→	←→	←→

### 3. 事務所から排出した一般廃棄物の削減(基準年比3%削減)

取組目標	活動項目	担当	スケジュール			
			4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
① 一般廃棄物の排出抑制	1 使い捨て商品の使用、購入の抑制	成重	←→	←→	←→	←→
	2 詰替え可能な製品の利用	成重	←→	←→	←→	←→

### 4. 化学物質使用量の適正管理

取組目標	活動項目	担当	スケジュール			
			4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
① 年間化学物質使用量の把握・管理	1 使用量の把握と管理	若本	←→	←→	←→	←→
	2 SDSの取得と管理	才津	←→	←→	←→	←→

### 5. グリーン購入の推進(基準年比2%増加、購入金額比率94%)

取組目標	活動項目	担当	スケジュール			
			4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
① グリーン購入の推進	1 事務用品、清掃用品の見直し改善	成重	←→	←→	←→	←→

### 6. 環境関連の市民講座等への参加(基準年比30%増加,参加数20件)

取組目標	活動項目	担当	スケジュール			
			4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
① 環境関連講座等への参加	1 講座等への参加	佐藤	←→	←→	←→	←→

### 7. 受託した廃棄物のリサイクル促進(基準年比20%増加,対応数30件)

取組目標	活動項目	担当	スケジュール			
			4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
① ごみの分別の促進	1 分別方法のお知らせの配布・掲示	中谷	←→	←→	←→	←→
	2 収集時の分別確認と報告	小橋	←→	←→	←→	←→

## 8. 環境目標の達成状況

- ・平成29年度は、設定した環境目標7項目の全項目で目標を達成できました。
- ・特に最大負荷である二酸化炭素排出量は、大幅な電気とガソリンの削減により、基準年比2%削減目標に対して目標達成率109%(基準年比-10%)を達成できました。

環境目標	単位	基準年 H26年度 実績 (26年4月～ 27年3月)	H29年度 (H29年4月～30年3月)		目標達成率	達成判定
			目標	実績		
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	88,092 <sup>※1</sup>	86,330 (-2%)	<b>79,157</b>	109%	○
①電気使用量の削減	kWh	14,909	14,462 (-3%)	<b>10,304</b>	140%	◎
②ガソリン使用量の削減	L	7,839 <sup>※1</sup>	7,682 (-2%)	<b>5,977</b>	129%	◎
③軽油使用量の削減	L	23,122 <sup>※1</sup>	22,660 (-2%)	<b>22,444</b>	101%	○
④都市ガス使用量の削減	m <sup>3</sup>	34	33 (-3%)	<b>30</b>	110%	◎
2. 水使用量の削減	m <sup>3</sup>	743	721 (-3%)	<b>397</b>	182%	◎
3. 事務所から排出した 一般廃棄物の削減	kg	1,530	1,484 (-2%)	<b>1,110</b>	134%	◎
4. 化学物質使用量の 適正管理	kg	3.4	適正使用、適正 管理に努める	適正使用、適正 管理に努めた	—	○
5. グリーン購入の推進	% (購入金額)	92 <sup>※2</sup>	94 (+2%)	<b>95</b>	101%	○
6. 環境関連の 市民講座等への参加	件 (参加数)	16	20 (+30%)	<b>51</b>	255%	◎
7. 受託廃棄物の リサイクル促進	件 (対応数)	24 <sup>※2</sup>	30 (+20%)	<b>47</b>	157%	◎

備考 ( )は基準年に対する増減率を示す

※1:平成27年度の実績をベースに車両の増減を考慮し算出したもの。

※2:平成27年度実績(推定値)で示す。

※ 達成判定区分 ◎:目標達成率110%以上 ○:100%以上110%未満 △:90%以上100%未満 ×:90%未満

## 9. 環境活動の取組結果の評価、今後の取組内容

・環境活動の取組は全項目でよく実施できました。今後も現在の取組を更に徹底していきます。

取組目標	達成判定	活動項目	※実施判定	評価および今後の取組内容
1. 二酸化炭素排出量の削減	○		○	<p>&lt;取組結果&gt;</p> <p>電気、都市ガスについては、機器のこまめな運転、停止を心がけたため、成果が出ている。</p> <p>ガソリン・軽油についてはエコドライブ活動や、ルート改善のための動画製作等、事務局とドライバーの連携により成果が表れている。</p> <p>&lt;今後の取組内容&gt;</p> <p>電気、とりわけ空調については、よりクールビズ。ウォームビズを意識した操作やフィルター清掃等の機器の性能維持管理等を徹底していく。</p> <p>ガソリン・軽油については、このまま活動を継続、ドライバーと連携を図り、さらなる削減を目指していく。</p> <p>都市ガスについては昨年と同じく、全体の使用量が少ないため、少しの変動が達成判定に影響を及ぼすが、より削減を目指して活動を続けていく。</p>
①電気使用量の削減	◎	室温を決めエアコン設定温度で調節する。 (冷房期28℃,暖房期20℃)	○	
②ガソリン使用量の削減	◎	アイドリングストップ手順を決め実行する 車両の燃費向上(エコドライブ)	○	
③軽油使用量の削減	○	搬送ルートと搬送方法の見直し アイドリングストップ手順を決め実行する	○	
④都市ガス使用量の削減	◎	使用時間を決め、実行する	○	



1-①  
電気使用量の削減  
(クールビズポスター)

夏28℃, 冬20℃  
(温度計を見ながら)



1-②  
ガソリンの使用量削減  
(エコドライブ会議資料)



1-③  
軽油使用量の見直し  
(搬送ルート見直し)



1-④  
都市ガス使用量の削減  
(時間、温度設定、節水)

2. 水使用量の削減	◎	ごみ収集車の洗車時の節水	○	<p>&lt;取組結果&gt;</p> <p>洗車、洗濯時のこまめな節水を行った成果がでている。</p> <p>&lt;今後の取組内容&gt;</p> <p>このまま活動を継続していく。</p>
		節水対策用具への取り組み		
3. 事務所から排出した一般廃棄物の削減	◎	使い捨て商品の使用、購入の抑制	○	<p>&lt;取組結果&gt;</p> <p>詰替え可能な製品の採用、裏紙の使用等、積極的に行っている。また、裏紙専用プリンターの導入を行い、使用を促している。</p> <p>&lt;今後の取組内容&gt;</p> <p>このまま活動を継続していく。</p>
		詰替え可能な製品の利用		

備考)※実施判定区分 ○:良好 △:おおむね良好 ×:よろしくない



2  
水使用量の削減  
(ごみ収集者の洗車時の節水)  
  
(シャワーヘッド)



3  
事務所から排出した一般廃棄物の削減  
  
(裏紙の利用促進のためのプリンター導入)

4. 化学物質使用量の適正管理	○	使用量の把握・管理	○	<取組結果> 使用量を把握、管理ともに良く出来ている。また、SDSも都度取得している。 <今後の取組内容> このまま活動を継続していく。
		SDSの取得と管理		
5. グリーン購入の推進	○	事務用品、清掃用品の見直し、改善	○	<取組結果> 環境ラベルのついた商品を積極的に購入している。 <今後の取組内容> このまま活動を継続していく。



4  
化学物質使用量の適正管理  
(SDSの取得)



5  
グリーン購入の推進  
(アスクルカタログでグリーン購入製品を確認)

6. 環境関連の市民講座等への参加	◎	講座等への参加	○	<取組結果> 環境関連の市民講座等への参加は積極的に行っている。 <今後の取組内容> このまま活動を継続していく。
7. 受託廃棄物のリサイクル促進	◎	分別方法のお知らせの配布・掲示 収集時の分別確認と報告	○	<取組結果> 分別の確認、お知らせ等はよく出来ている。 <今後の取組内容> このまま活動を継続していく。



6  
環境関連の市民講座等への参加  
(左：環境首都検定団体表彰の盾)



7  
受託廃棄物のリサイクル促進  
(分別方法のお知らせ、分別促進)

## 10. 環境関係法規への違反、訴訟等の有無

- ・平成29年度中は、当社に係わる環境関連法についての違反および他社からの訴訟はありませんでした。
- ・また、関係当局よりの違反指摘も、過去3年間ありませんでした。
- ・地域住民および関連する機関等からの苦情もありませんでした。

主な環境関連法規		主な遵守事項	遵守判定 <sup>※</sup>
廃棄物処理法	一般廃棄物	一般廃棄物の収集運搬許可・更新	○
		適正処理	○
		帳簿の作成・保存	○
	産業廃棄物	産業廃棄物処理事業等許可の取得	○
		適正処理	○
		帳簿の作成・保存	○
建築物衛生法	貯水槽清掃業の登録要件	○	
	建築物ねずみ昆虫等防除作業の登録要件	○	
	建築物環境衛生総合管理業の登録要件	○	
フロン排出抑制法	業務用空調機簡易定期点検	○	

備考)※遵守判定区分 ○:遵守 ×:不遵守 -:該当なし

## 1 1. 代表者による全体評価と見直しの結果

---

当社では、平成27年度より環境経営マネジメントの一環としてエコアクション21をスタートし、これまで環境への取組を進めてまいりました。

平成29年度の取組に対する代表者の評価と見直し結果は、以下のとおりです。

### 1. 取組の全体評価

環境への取組は全社員で取り組むことができ、環境目標も全項目で達成できました。この理由は次のように評価しています。

1) 二酸化炭素排出量については、削減目標を基準年比-2%で推し進めてまいりましたが、目標達成率が109%(基準年比-10%)と目標値を大きく上回りました。

・電気使用量の削減については、エアコンの入替と室温の適切な管理が大きな要因だと考えられます。

また、室内灯を含め小まめにスイッチのON&OFFの成果であるものと考えられます。このように、年間を通じて実行した社員一人ひとりの小まめな取組対応と適時の設備対応が削減に繋がったものと考えています。

・ガソリン・軽油の削減については、動画作製などで車両運行業務(収集ルート)の見直しを行ないました。

また、エコドライブ等手順を決め実行した為達成できたものであると考えられます。

2) 当社の活動促進項目としては、事務用品・清掃用品等のグリーン購入を実行し、環境関連の市民講座等への積極的な参加を行なうと共に顧客からの受託廃棄物の分別推進を行い、リサイクル促進を昨年以上に促したことが好成績に繋がったものと考えます。

### 2. 見直し結果

・次年度は取組の継続性を確保するため、実施体制を見直し新たな環境管理責任者の育成と交代を行います。

・取組状況が良好であったことから、その他の計画の見直しは行いませんが、更なるステップアップを目指します。

・今後の検討課題として問題点の是正処置を3件行い、二酸化炭素排出量および一般廃棄物排出量の削減等成果がでましたが、一部基準が曖昧であったため、今後は明確化を進めます。

・また、目標と実績が乖離している目標項目もみられましたが、この点は、必要に応じて委員会にて現場の意見をききながら見直しを図り、今後とも社員一丸となり、環境活動・目標の達成の再認識および、環境への意識向上を促し、事業を通じて地域社会(低炭素社会)に貢献できるよう努めてまいります。